

環境の世紀と言われる21世紀を迎えた今、私たちは、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄というライフスタイルや社会経済システムを見直し、自然との共生を図り、持続的に発展ができる「循環型社会」の実現をめざしていかなければなりません。

地球温暖化やオゾン層の破壊など、人類社会の存続と密接に関係する地球規模での環境問題が深刻化しています。なかでも、廃棄物に関しては、不法投棄やダイオキシンをはじめ、社会問題化する場合が多く、その減量やリサイクルが緊急の課題です。

兵庫県では、県政の推進にあたり県民の参画と協働のもと、「21世紀兵庫長期ビジョン」を策定しました。その基本方向として、実現をめざす社会像の一つが「環境優先社会」としています。これを受け持続可能な循環型社会の構築をめざす「ひょうご循環社会ビジョン」を策定しました。

新たに策定した「兵庫県廃棄物処理計画」は、この「ひょうご循環社会ビジョン」の実施計画として、また、今後の廃棄物行政を推進するための行政計画として位置づけるものです。

この計画では、廃棄物の発生を抑制(reduce)し、製品・部品としての再使用(reuse)や再資源化(recycle)を進め、不必要的ものの受け取りを拒絶(refuse)し、修理して使用(repair)するという、「5R生活」を推進するとともに、廃棄物の適正処理を進めることを基本方針としています。

廃棄物の最終処分量の半減をめざして計画を推進することとしていますが、この目標を達成するためには、県民、市町、事業者等、あらゆる主体の参画と協働が不可欠です。

持続可能な循環型社会の実現をめざして、皆様一人ひとりのご理解と一層の“参画と協働”を心から願ってやみません。

平成14年3月

兵庫県知事 井戸 敏三